

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	17	事業名	職員自らによる職場改善活動の実施			戦略コード	4	戦略名	機動的・効率的な商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	千葉 恵美子	総轄者名	安田幸博	施策コード	7	施策名	充実した個社支援のための組織のあり方検討		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

業務量の見直しや平準化を図り、残業時間の削減や個社支援へ集中できる環境整備を図る必要がある。

2. 事業のねらい

職種別会議を通じて業務の見直しなどを検討し、本支所の業務集約によるスリム化を図ることにより、効率的な業務を行い残業時間の削減及び個社支援に集中できる環境の整備を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	B	R1	B	R2	A
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

定例の職種別会議の開催により、進捗管理の徹底、資質向上並びに業務改善が図られ効率的な業務運営につながり、個社支援強化の体制づくりが図られた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

定例職種別会議で既存事業や業務の見直しを図ると共に、コロナ禍でもスムーズな職員連携が図れるよう業務のオンライン化(オンライン会議、オンライン講習会)を進めた。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
・職員会議のオンライン化 ・会員向け講習会のオンライン受講対応	・月例の職員会議に加え、次期アクションプログラム検討のワーキング会議等でオンライン会議での開催が定着した。 ・会員への連絡や通知についてはメールの活用も積極的に取り入れた。	a

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	達成度					項目	達成度					項目	達成度				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) a

〈評価の理由〉

新型コロナウイルス感染症拡大を機にオンライン会議、オンラインセミナーが広く普及し、事業活動を行ううえで、効率的な対応は必要不可欠である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

内部の会議はオンライン開催が定着している。また、労働保険事務などの委託業務においては、会員との書類のやり取りについてはメールの活用を促進することで、相互の事務効率化を図っている。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 コスト削減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) a

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

- ・オンライン会議を定着させたことにより、本支所間の移動コストが無くなった。
- ・オンライン講習会により招聘講師の旅費支出が低減された。
- ・オンライン講習会により遠方で開催される著名講師の講習会受講機会が増えた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

業務の見直しや効率化など当初の目的は既に達成されている。

3. 課題

事業環境の変化や商工業者の現状に合わせた商工会活動の見直し・強化

4. 今後の対応方針(改善点)

- ・定例職種別会議等により既存事業や業務の見直しについて協議を行い、さらなる業務改善を推進する。
- ・職員間では積極的な情報共有を行い、連携できる体制づくりを強化する。
- ・職員一人一人が業務改善を意識した行動を心がける。